

令和8年度 町田市立鶴川中学校 年間指導計画及び観点別評価規準

第 1 学 年 教科： 国語 教科書： 光村図書 週時数： 4 担当者： 一ノ関真佐子・竹内弥生

| 学期 | 月 | 単元・章 | 時数 | 観点別評価規準 | | |
|---------------------------------------|--|--|--|---|---|--|
| | | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 1 | 4 | オリエンテーション 朝のリレー 野原はうたう 書き留める 言葉を調べる | 1 1 3 2 | 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子など工夫しながら音読している。 聞き手を意識して速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。 | 「書くこと」において目的や意図に応じて日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 日常生活やこれまでに読んだ本の中から題材を決め、情報を整理している。 | 音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。 |
| | 5 | 学びをひらく はじまりの風 情報を的確に聞き取る 情報を整理して書こう 新しい視点で ダイコンは大きな根？ ちよっと立ち止まって 情報社会を生きる | 4 1 2 4 6 | 登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。 5W1H に注意して、キーワードとなる言葉を書き留め、番号や記号を用いて整理している。 筆者の主張と事例との関係を理解している。 | 場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。 日常の話題について、情報を整理し、聞き取る内容を考えている。 「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。 序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。 | 進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かそうとしている。 場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。 進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。 |
| | 6 | 文章の中心部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。 | 7 | 文章の中心部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。 | 文章の中心部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。 | 文章の中心部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。 |
| | 7 | 文法への扉1 言葉に立ち止まる 空の詩 三編 さまざまな表現技法 比喻で広がる言葉の世界 いつも本はそばに | 3 1 4 | 文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。 詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 読書の効果を理解している。 | 文章を読み、理解したことを基に、自分の考えを形成している。 | 文章の中心部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。 |
| | 9 | 心の動き 大人になれなかった弟たちに… 星の花が降るころに 項目を立てて書こう 筋道を立てて [言葉]をもつ鳥、シジュウカラ 根拠を明確にして書こう | 9 7 2 7 | 戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解している。 様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをたどっているのか考えている。 筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて、理解している。 | 描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。 一場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。 | 登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。 |
| | 10 | いにしへの心にふれる いろは歌 古典の世界 蓬萊の球の枝「竹取物語」 今に生きる言葉 | 3 1 7 4 | 情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、出典の示し方に気をつけながら引用している。 【ICT】 音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。 音読に必要な文語のきまり、漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。 | 筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。 自分の考えに説得力をもたせるようなレポートの構成を考えている。 自分の考えを裏づける資料やデータを選び、アンケートで得られた情報を適切に関連づけて、考察を導き出している。 登場人物の関係や思いに着目して読み、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。 | 文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。 文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。 進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。 |
| | 11 | 価値を見出す 「不便」の価値を見つめ直す 文法への扉2 | 6 6 | 要約するための情報の整理のしかたを理解し、自分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示している。 「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について、理解を深めている。 | 「矛盾」などの基になった故事を調べ、どんな意味に使われるようになったか説明している。 賛成か反対か、立場を明確にして、筆者の主張に対する自分の考えをまとめていく。 立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いている。 | 文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考えている。 文章の構成や表現の効果について積極的に考えている。 |
| 12 | 自分を見つめる 少年の日の思い出 文法への扉3 二十歳になった日 構成や描写を工夫して書こう 一年間の学びを振り返ろう | 8 4 4 2 2 | 場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。 「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について、理解を深めている。 体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉に着目して読み、適切に選んで使っている。 声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながら発表をしている。 情報の整理のしかたを理解し、要点をわかりやすくまとめている。 | 登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。 読み手に状況がイメージできるように、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。 聞き手や場に応じて、発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。 | 文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考えている。 文章の構成や表現の効果について積極的に考えている。 | |
| 年間 | | 漢字・言葉・書写 | 25 | 漢字や言葉について、文や文章の中で使い慣れている。文の構成や展開について理解を深めている。 | 点画の連続と形の変化を理解して丁寧に字を書いている。場面に応じた文字や書き方を工夫している。 | 積極的に言葉を読んだり書いたりしようとしている。進んで練習問題に取り組もうとしている。 |
| <p>評定 [300(3観点の合計)÷3=100%]</p> | | | | <p>知 (100%)</p> | <p>思 (100%)</p> | <p>主 (100%)</p> |
| <p>評価方法</p> | | | | <p>定期考査 (70%程度) 授業内の活動 (30%程度) ・小テスト</p> | <p>定期考査 (50%程度) 授業内の活動 (50%程度) ・発表・作文・授業ワークシート</p> | <p>授業内の活動 (100%) ・振り返りシート・授業ワークシート ・ワーク</p> |

